

マネージメント情報

2013 年 10 月



この記事は、機関誌や日常の出来事の中からわれわれが注目した話題を皆様に提供するものです。
ご質問、ご要望などなんでもお寄せくだされば、今後テーマとして取り上げたいと思います。

1) 哺乳における衛生管理とポリ袋の利用 -これはいいかも!?

初乳も含めた哺乳の衛生管理は重要です。哺乳瓶は、ミルカーの洗浄過程と同様に、厳重に洗浄したのち乾燥状態を保ちながら衛生的に保管することが望まれます。



写真1



写真2

哺乳瓶の洗浄不良は、容器内にバイオフィームという膜を作ります。そこには細菌が住み着いて、洗浄殺菌がより困難になってきます。そうすると、その農場の仔牛は常に下痢のリスクにさらされ続けることになってしまいます。

(図1)

こうした容器のバイオフィーム(写真3)を確認するには、写真1のようにスプーンなどで容器を少し引っ掻いてみるとわかります。写真2(ピンボケしていますが、スプーンの先にカスが見えます。)のように、スカムが付きます。これがバイオフィームです。

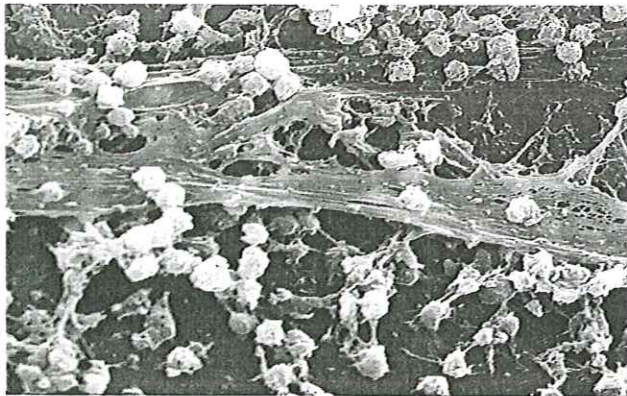


写真3 バイオフィームの顕微鏡写真

器具の洗浄とバイオフィルム

- もし、給与する直前の生乳あるいは代用乳の細菌汚染のチェックをしていないのであれば
すぐに行ってください。バイオフィルム（細菌の膜）は私たちの容器で徐々に発達します。私たちは、そのフィルムがある汚染濃度をはるかに超えてしまうまで目で確認することができません。たとえ、少ない汚染でも、毎日それらを給与することによって、代用乳の量を増やそうとする7-12日齢での持続的（恒常的な）下痢を導いてしまいます。

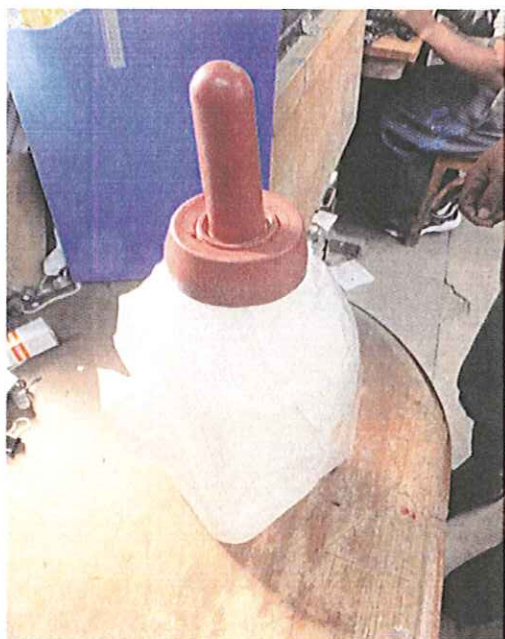
Sam Leadley 2006

図1

しかしながら、この容器のなかの洗浄は、かなりの手間と時間を要するのが現状です。

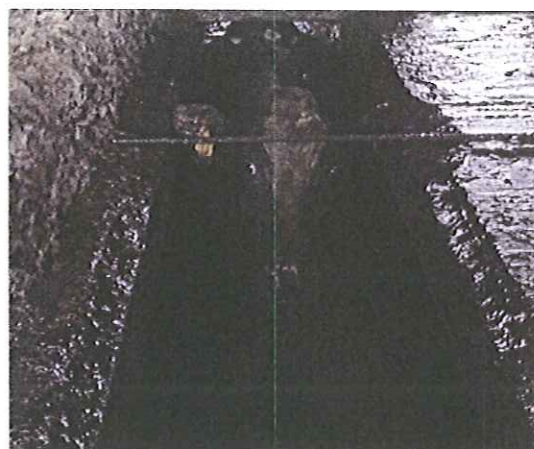
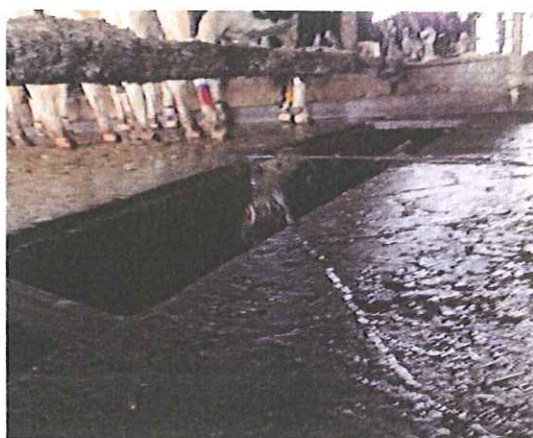
この問題を解決するのに一つよい方法を紹介します。以前にも当社S獣医師が紹介したことがあるかと思います。これはI農場さんのアイデアで、写真は、N農場さんのものです。容器にポリ袋（使い捨て）を利用することによって、ミルクの汚染を防ぐと同時に、洗浄に要する手間や時間、費用を削減することが可能です。もちろん、しっかり洗浄することが基本ですが、「場合の手？」として、極めて有効と思われます。以下の写真を見てください。





ミルクは完全に容器から隔離されます。ナイスですね。

2) 農場の一コマ



この牛は、こんな状態でも余裕で反芻をしていました。(笑)

黒 崎

お願い：

9月、10月と診療が忙しくご迷惑をおかけすることもあり申し訳ありません。当社では酪農家さんの都合を第一にその時間帯などに配慮した往診をしています。一方、酪農家さんからの受付時間帯が定まらず、往診スケジュールにも不合理が生じ、急患対応への遅れや獣医師の負担増につながってしまっています。往診：薬品に対する受付がなるべく早い時間帯に終わっていただけるようご協力をおねがいするしだいです。

黒 崎

マネージメント情報

※ リポートリーダーへの体外受精卵の追い移植…⑤

今回は体外受精卵作出のスケジュールについて紹介します。

現在は火曜日(東藻琴)、金曜日(釧路)の2回体外受精卵を作出していて、畜産公社まで住谷獣医師が卵巣を取りに行っています。

東藻琴はこちらで卵巣を子宮から切り離す作業をしなければならないので朝7時前には出発しなければなりません。東藻琴も釧路もBSEの検査結果が出るまでは卵巣の持ち出しができませんのでひたすら待たなければなりません。

検査結果がでると直ちに中春別のラボまで車を走らせ、到着しだい作業が始まります。東藻琴の場合は4時前後、釧路の場合は6時前後になります。一度BSEの検査結果がでるのが遅くなり8時前に到着ということがありました。

				AM							PM														
				7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24				
月			09																						
火		05		畜産公社(東藻琴)												卵胞吸引・成熟培養									
水		07												凍結		媒精								裸化	
木	06	08		OPU		成熟培養				凍結															
金	07	09	06							媒精		畜産公社(釧路)						卵胞吸引・成熟培養							
土	08		07					凍結				媒精						裸化							
日	09		08											凍結											

卵胞吸引に約1時間、次に吸引した卵子の検索、卵子の洗浄の後成熟培養の手順で一日目は終わりますが早ければ8時、遅ければ10時11時になります。

21時間後に媒精(体外受精)を行い、その6時間後に裸化という最終作業を行います。

上記の表のような時間帯で行っており、みなさんが想像する以上に細かい顕微鏡下での時間厳守の仕事です。

またOPUは水色で示しているように、毎週木曜日と希望がある時には金曜日に行っています。

メインは谷澤(師)・住谷(弟)コンビで行っていますが先月から私も積極的に参加しています。

表には載っていませんが、この他に時間に合わせた準備(こっちの方が大変です)や後片付け、毎日希望のある時間帯での新鮮卵の装填作業や配送、凍結作業があります。

・今回は体外受精卵の作出スケジュールを紹介しました。時間に縛られながら夜を夜を頑張っていることをちょっぴりわかって欲しいと思ったからです。これも一頭でも多く受胎して次の乳期に繋いでいきたいという一念からです。

・雪虫も現れたとか…本当に一年は早いですね。ボチボチ朝晩道路の凍結が始まります。お互い車の運転には十分に気をつけましょう。

～ 今月のアイデア賞 ～

清潔で衛生的な搾乳を目指して…

皆様、日々衛生的な搾乳を心掛けて搾乳時にはゴム手袋を着用されている方が多いと思います。

人の手指には細菌がうじゃうじゃいますし、十分に手を洗淨・消毒しても手のしわや爪の間まで無菌するのは困難です。搾乳作業中は手もすぐに汚れるのでその度に洗っていても手も荒れ放題。そのような手で乳頭清拭するとせっかく乳頭をきれいに拭いても手から乳頭へ細菌が媒介され、乳房炎やバルク乳細菌数の上昇につながることも。。。。

そんなこんなで手荒れも防ぎ、すぐに汚れを洗い落とせるゴム手袋の着用が推奨されていますが、そのゴム手袋も汚れたままだと意味がありません。作業途中のゴム手袋も細菌数を調べてみるとけっこうたくさん細菌がいるのです。

ゴム手袋から分離された細菌：

環境性ブドウ球菌、レンサ球菌、酵母様真菌、シュードモナス、コリネバクテリウム、緑膿菌、枯草菌、セレウス、腸球菌、大腸菌 etc...

汚れたゴム手袋を洗うために右手にホースを持って左手を洗って左手に持ち替えて右手を洗って・・・あれ？また左手が汚れてる！？どうすりゃいいの？

ということで、先日、とある農場で発見したアイデアグッズをご紹介します！

搾乳台に手洗器が！？



上部からぶら下がる
水道ホースと接続

手をかざすと…



なんと自動水栓！！

これで周りを汚さず両手をきれいに洗える！！